

氏名	吉 田 栄 一		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学 位 授 与 番 号	乙 第 1719 号		
学 位 授 与 の 日 付	昭和61年12月31日		
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学 位 論 文 題 目	長期血液透析患者と悪性新生物発生に関する研究 —— 臨床的および免疫学的検索 ——		
論 文 審 査 委 員	教授 寺本 滋	教授 木村郁郎	教授 太田善介

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

血液透析患者は、その免疫能が低下していることが以前より報告されている。そこで、血液透析患者を対象に、悪性新生物の発生頻度、および、その免疫能について検索した。504名の血液透析患者のうち18名（3.57％）に悪性新生物が発生し、この値は、一般健康人に比して明らかに高値を示した。また、免疫能に関する検索では、血液透析患者では、OKM1<sup>+</sup>細胞が有意に減少し、NK・Kcell の減少が示唆された。また、患者のリンパ球は、健康人の mitogen response を強く抑制し、免疫抑制活性をもつことが判明した。一方、血清中の免疫抑制物質として知られている IAP も血液透析患者では有意に増加していた。こうした、細胞性、液性免疫能の低下が、血液透析患者における高頻度の悪性新生物発生の原因と推測された。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は長期血液透析における臨床的研究であるが、504名の血液透析患者中発生した18例の悪性腫瘍例について、臨床的、免疫学的検索によりその発生要因に関する重要な知見を得たものであって、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。